

重要 図書館における著作物の利用

「著作権 (copyright)」とは？

2001（平成13）年より、全大学図書館では著作権啓発活動を行っています。

大学図書館の資料の多くは、著作権保護の対象です。

図書館資料は「著作者」による「著作物」です。「著作権」とは、「著作者」の利益や財産が他者に不当に利用されないための権利です。「著作物」の利用にあたっては、「著作権」保護の対象か確認が必要です。

著作権で保護された「著作物」の複写には著作権法による制限があります。必ず著作権保護のルールを守りましょう。

「著作物」と「著作権保護期間」

図書、雑誌、新聞記事はもちろんのこと、DVD、Blu-ray、VHS、絵画、イラスト、建築、図面、模型、写真、音楽、アニメーション、動画、地図、コンピュータープログラム、電子資料等は「著作物」に該当します。

著作権保護のルールでは、保護期間は著作者の死後（団体名義の作品、映画などは公表後）70年です。ただし、1967年以前に著作者が死亡した場合は、死後50年間です。定められた期間を超過した場合は、社会全体の共用物「パブリック・ドメイン」となるので、どなたでも自由に利用することができます（転載や複製使用など二次利用の要件は、所蔵機関の規定を必ず確認しましょう）。

電子資料の利用と注意

電子資料（電子ブック、電子ジャーナル、オンラインデータベース）の利用には注意が必要です。

- ① 著作権法および、提供元の利用規約・条件に従って利用する
（ダウンロードした論文等の変更・複製、再配布、販売などは禁止です）
- ② 一度に大量ダウンロードしない（画面表示もダウンロードとみなされます）
- ③ 利用は本人のみ（ログインID・パスワードを共有しない）
- ④ 個人の教育研究目的以外で利用しない

一個人の違反行為であっても、大学全体のペナルティとなります。適切な利用をお願いします。

ルールを守って利用しましょう



レポート・論文の作成には注意しよう！ 引用のルール

資料コピーやネット上の「著作物」を利用して、プレゼン資料・レポート・論文を作成する時は、必ず出典先や引用元を明記しましょう。参考文献・引用文献の記載なしに、自分のオリジナルとして作成・発表することは盗用や剽窃にあたります。引用部分は必ず「」でくくり、引用文献を表示しましょう。「著作権者」の同意なしに、「著作物」を「転載」や「複製」（コピー&ペーストで丸写し）したり、翻案（改変、アレンジ）することは、著作権侵害となります。レポート・論文の作成には注意しましょう。

コピー（複写）の範囲

著作権法31条に基づき、「調査研究用であること」「一人につき一部」「有償無償を問わず、再複写、頒布（販売・貸与）はしないこと」を条件に複写が可能です。

本学図書館のコピー機利用にあたっては、「文献複写申込書」の提出をお願いします。

なお、図書館でコピー（複写）できるのは、図書館の資料に限ります。

下の表を参考にコピーしましょう。

著作物	複写の範囲
単行本	著作物全体の半分まで
短編集・論文集	短編集・論文集などは、個々の論文・作品の半分まで
地図	1枚ものはその半分まで ※国土地理院作成地図は調査目的であれば、全部を複写可能
写真・絵画	個々の作品の半分まで（1ページ以下の写真は複写不可）
事典・辞書	1項目の半分以下
新聞	当該日の翌日より全部を複写可能
雑誌	最新号以外のバックナンバーは、個々の記事・論文について全てを複写可能

コピーのルール

- ① 調査研究目的のみ
- ② 1人につき1部だけ
- ③ 著作物の半分まで
(雑誌・新聞は最新号でなければ全部 OK)
- ④ 文献複写申込書の提出 図書館カウンターへ

ルールを守ってコピー!



学内所蔵の文献か、図書館 OPAC で確認する

まずは、希望文献を本学図書館で所蔵しているか、図書館 OPAC で検索してください。所蔵の場合は、上記の「コピー（複写）の範囲」に従い、自分で複写をしてください。

学外（他機関）から文献コピーを取り寄せる場合

本学図書館に所蔵がない場合、学外から文献コピーを取り寄せます。

複写の範囲は依頼先機関のルールに従います。

学外から文献コピーを取り寄せは、図書館ホームページの「マイライブラリ」より、「各種申し込み 他館への文献の複写を依頼」から依頼してください。他機関からの文献コピーの取り寄せには、文献の郵送料、複写料金は申込者の自己負担となります。

参考文献

- 1) 飯島史朗, 石川さと子 (2022) 『生命科学・医療系のための情報リテラシー：情報検索からレポート作成, 研究発表まで 第4版』丸善出版
- 2) 上野達弘編 (2021) 『教育現場と研究者のための著作権ガイド』有斐閣
- 3) 奥田百子 (2017) 『なるほど図解著作権法のしくみ 第3版 (CK books)』中央経済社
- 4) 奥村晴彦, 森本尚之 (2020) 『基礎からわかる情報リテラシー：コンピューター・インターネットと付き合う基礎知識 改訂第4版』技術評論社
- 5) 国立国会図書館「著作権にかかわる注意事項」
<https://www.ndl.go.jp/jp/copy/copyright/index.html> (参照 2023-12-08)
- 6) 作花文雄 (2022) 『著作権法 3訂版 (放送大学教材:1539450-1-2211)』放送大学教育振興会